

総合診療科

■ スタッフ

科長 竹村 洋典

医師数 常勤 7名

■ 診療科の特色・診療対象疾患

1. 治療方針

地域の住民が健康で豊かな生活を送ることを目指し、臓器にかかわらず様々な身体や心の問題に対して診療することにより、患者中心の医療を提供するようにつとめました。

総合診療の経験豊かな教員スタッフと教員スタッフの指導の下、学生・研修医も真摯に診療しました。

2. 主な診療内容

○かぜ、頭痛、めまいなど、日常でよく起こりうる病気や症状がある方の診療

○様々な疾患をもったり、問題が多臓器に及んだりするため、一つの科だけでは診られない方の診療

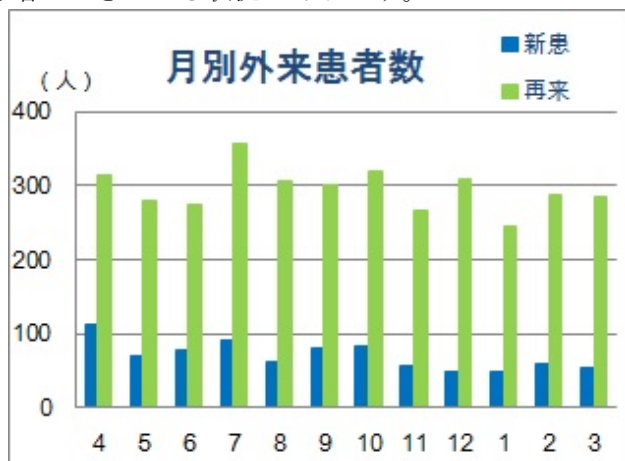
○不明熱、原因不明の検査異常など他の医療機関や他の専門科で診断・治療が難しい方の診療

○精神科での治療が必要でないうつ病などの心の問題のある方の診療

■ 診療体制と実績

診療患者数は、別表の通り推移しています。

昨年度までと同じく、複数・多領域にまたがる症例を継続的に診療することが多かったが、最近では、近隣医療機関からの診断に難渋する例の紹介も増えてきている状況にあります。



■ 診療内容の特色と治療実績

○かぜ、頭痛、めまいなど日常でよく起こりうる病気や症状

○どこに受診したらよいかわからない症状

○身体の問題をもちながら心の問題ももつ疾患

○他の医療機関や他の専門科で原因がわからない症状

○入学や入社などに必要な健康診断

■ 臨床研究等の実績

1. 出版 (書籍)

□竹村洋典, 吉本尚, 北村大: B3 傾聴や引き出しの技法 Inner Consultation 内なる診療 p203 -242 カイ書林; 第1版 (2014/4/23)

□若林英樹: 利用者・家族とのコミュニケーション. 市橋亮一, 若林英樹, 荒木: がん患者のケアマネジメント—ターミナル期をささえる7つのフェーズ—21の実践 第4章, 中央法規, 2015 in press

□四方 哲: 第4章「急性膵炎の疫学」急性膵炎診療ガイドライン 2015[第4版 (高田忠敬監修)]. [2015年版].金原出版, 東京, 2015

□洪 英在: 社会福祉士養成講座編集委員会編新・社会福祉士養成講座 人体の構造と機能及び疾病 中央法規出版 (分担執筆) 2014

2. 原著論文 (学会誌, 総説含む)

□Akiteru Takamura, Kenya Ie, Yousuke Takemura, Overcoming challenges in primary care education: a trial of a longitudinal integrated clerkship in a rural community hospital setting in Japan. Education for Primary Care, Volume 26, Number 2, March 2015, pp. 122-126(5)

□原著: Ken Horibata and Yousuke Takemura, Inappropriate Use of Ambulance Services by Elderly Patients with Less Urgent Medical Needs. Tohoku J. Exp. Med., 2015, 235, 89-95

□若林英樹, 岡聡, 在宅医療を解して家族にアプローチする～在宅医療における家族支援～, 精神療法第40巻, 680-687, 2014

□榎田美雄, 堀田裕子, 若林英樹, 在宅医療文化のビデオエスノグラフィ～生活と医療の相互浸透関係の探求～, 現象と秩序, 第1号 95-102, 2014

□家 研也. 診療所・小病院での学生・研修医指導を考える. 第5回「施設の軸-地域施設と大学の共生関係」日本プライマリ・ケア連合学会誌 2014; 37(1), 61-63

□Ie K, Tahara M, Murata A, Komiyama M, Onishi H. Factors associated with the career

choice of family medicine among Japanese physicians: The dawn of a new era. *Asia Pacific Family Medicine* 2014, 13:11 (3 October 2014)

□ Takeshi Seta, Yoshinori Noguchi, Satoru Shikata, Takeo Nakayama Treatment of acute pancreatitis with protease inhibitors administered through intravenous infusion: an updated systematic review and meta-analysis.

BMC Gastroenterol. 2014;14(1):102.

□ Satoru Shikata

Advisory comment to Oncological benefit of preoperative endoscopic biliary drainage in patients with hilar cholangiocarcinoma

J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2014;21(8):541.

□ Tomohiko UKAI, Satoru SHIKATA, Machiko INOUE, Yoshinori NOGUCHI, Hisato

IGARASHI, Shuji ISAJI, Toshihiko MAYUMI, Masahiro YOSHIDA, Yousuke C. TAKEMURA

Early Prophylactic antibiotics administration for Acute Necrotizing Pancreatitis: A Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials

J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015;accepted, preparing for publication.

□ 大西丈二, 古里綾佳, 山添尚久, 小島照司, 関岡清次

一過疎町における訪問診療対象者の日常生活動作および認知機能等に関する概況調査. *日本在宅医学会誌.* 16(1). 27-30. 2014

□ 大西丈二, 小林隆司, 小山博史

地方におけるWebサイト「がん情報サービス」およびその他のがん関連情報源についての利用状況調査. *東海公衆衛生雑誌.* 2(1):84-88. 2014

□ 大西 丈二

医師年齢を考慮した地域診療所医師数の評価
奈良医学雑誌 65巻1・2・3 ;17-23. 2014

3. 原著論文以外 (商業誌, 総説含む)

□ 竹村洋典: 医学教育の展望: 日本独自のエビデンスを作る医師を育てる *ドクターゼ* No.10 2014.7

□ 竹村洋典: 医療界常識の非常識 41 *ドクターズマガジン* 2014年5月号 No.175 May p13

□ 竹村洋典: 医療界常識の非常識 49 *ドクターズマガジン* 2015年1月号 No.183 January p13

□ 若林英樹, 竹村洋典監修: 医療界常識の非常識 45 *ドクターズマガジン* 2014年9月号 No.179 September p13

□ 田口智博: 診療所で使えるコーチング術 コーチングによって学習者の能力を最大限に引き出せ

る:治療 2014年増刊 Vol.96 知らなきゃ損する!
Doctor's pearl

□ 鳥谷部真実, 竹村洋典: 思い出のポートフォリオを紹介します 第4回 コミュニケーション ~怒りの感情へのアプローチ~ 総合診療のGノート 2014年10月号 Vol.1 No.4 p630

□ 鳥谷部真実, 北村 大: CASE11 50歳代になってから頭痛がある 62歳男性, 本村和久編集: 備えておくべき重篤疾患の診かた, pp60-64, 日本医事新報社, 2014

□ 北村 大: CASE12 尿が少ない, 回数が少ないと訴える 76歳女性, 本村和久編集: 備えておくべき重篤疾患の診かた, pp65-69, 日本医事新報社, 2014

□ 北村 大: 研修医が知っておきたい介護保険の知識と主治医意見書を書く歳の注意, 奈良信雄編集, 1 本当に知りたかった日常診療のコツ, pp145-151, 羊土社, 2014

□ 竹村洋典分担翻訳, 草場鉄監訳, Roger Neighbour 著, *Inner Consultation* 内なる診療, カイ書林, 2014, pp203-213

□ 吉本 尚分担翻訳, 草場鉄監訳, Roger Neighbour 著, *Inner Consultation* 内なる診療, カイ書林, 2014, pp213-223

□ 北村 大分担翻訳, 草場鉄監訳, Roger Neighbour 著, *Inner Consultation* 内なる診療, カイ書林, 2014, pp223-243

□ 佐々木隆徳, 清田実穂, 森洋平. *Clinical Skill Assessment*, 治療 2015, 1月号

□ 森洋平. チーム力を高めるための効果的な機会づくりのススメ (勉強会, 宴会, 慰安旅行など), 治療 2015, 2月号

□ 高村昭輝, 竹村洋典監修: 医療界常識の非常識 42 *ドクターズマガジン* 2014年6月号 No.176 June p13

□ 四方哲. 全職員の誇り高きビジョンとして家庭医を育成する 全国自治体病院協議会雑誌 第53巻12号 2014;1896-1898.

□ 四方哲 幸福とは何か? 全国自治体病院協議会学会雑誌 第54巻1号 2015;72-73.

□ 洪 英在『90疾患の臨床推論! 診断の決め手を各科専門医が教えます「せん妄」』レジデントノート増刊 Vol.16 No.14 p2708-2709, 2014

□ 洪 英在『90疾患の臨床推論! 診断の決め手を各科専門医が教えます「アルツハイマー型認知症」』レジデントノート増刊 Vol.16 No.14 p2748-2749, 2014

□洪 英在 『90 疾患の臨床推論！診断の決め手を各科専門医が教えます 「レビー小体型認知症」』 レジデントノート増刊 Vol.16 No14 p2750-2751, 2014

□洪 英在【特集】総合診療で支える！高齢者の在宅復帰 在宅復帰支援におけるバックアップベッドの意義～いつでも入院できるという安心が在宅医療を支える 総合診療の G ノート Vol1.No5 p699-708, 2014

□洪英在 すんなりわかる 実践！認知症を診ていこう 治療 Vol 97 No3,2015 (2015 年 3 月発行予定)

□宮崎 景, 竹村洋典監修『医療界常識の非常識』 ドクターズマガジン(177): 2-2 2014

□宮崎 景 高血圧診療の質を評価する. 月刊地域医学 Vol.28 No.1.39-41 2014

□宮崎 景. 米国心臓病学会 (American College of Cardiology) の提言. 「あなたの医療, ほんとはやり過ぎ?～過ぎたるはなお及ばざるがごとし～」 y in Japan —Less is More—, 2014 Choosing wisely

□宮崎 景. 米国家庭医療学会 (American Academy of Family Physicians) の提言. 「あなたの医療, ほんとはやり過ぎ?～過ぎたるはなお及ばざるがごとし～」 Choosing wisely in Japan —Less is More—, 2014

□橋本修嗣: JIM 24 巻 10 号 特集帰してはいけない疾患を除外した後の外来診療【機能的疾患の積極的診断とフォロー】発行日/2014/10/15 pp. 928-931 緊張型頭痛 橋本 修嗣, 宮崎 景

□橋本修嗣: レジデントノート増刊 Vol.16 No.5 病棟でのあらゆる問題に対応できる! 入院患者管理パーフェクト石丸裕康/編 2014 年 05 月発行 2. 病棟での人工呼吸管理のコツ 橋本修嗣 215 (1011)

□出原弥和, 後藤道子, 吉田和枝: 5 科 6 大学による多職種連携プロジェクトにおける教育効果 - 看護学生の学びを中心に - Miwa IZUHARA, Michiko GOTO, Kazue YOSHIDA The Results of Inter-Professional Education Project by 5 Departments across 6 Universities - Mainly on the Learning of the Nursing Students - 奈良学園大学 紀要 2014

4. 国内学会・研究会発表(口述, ポスターを含む)

□岡聡, 若林英樹, 増井法子: 家族療法のアウト

リーチ～在宅医療クリニックにおける家族支援の取り組み, 第 31 回日本家族研究・家族療法学会大会, 2014.7.19, 神戸市

□向原千夏, 田口智博: 終末期前に終末期医療について, 家族内でまたは医療者と話し合うこと, 書面に残すことについての探索的研究. 第 5 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2014 年 5 月

□田口智博, 他 4 名: 医療従事者向けチームコーチングプログラムの開発～「個人」から「チーム」を対象としたコーチングへ～. 第 9 回臨床コーチング研究会 2014 学術集会, 2014 年 8 月

□田口智博, 他 14 名: 医療従事者を対象としたチームコーチング<事例紹介と研究結果> 全国チームコーチ連盟勉強会 (東京) 2014 年 12 月

□榎本尚助, 田口智博: シェーグレン症候群が基礎疾患と考えられた肢端紅痛症の 1 例. 第 225 回日本内科学会東海地方会 2015 年 2 月

□北村 大ほか, 日本版「病院総合医」の現状に関する質的評価, 日本プライマリ・ケア学会総会第 5 回学術集会, 2014/5

□北村 大ほか, 外来診療における, 患者満足度・患者中心性と医師満足度の関係, 日本プライマリ・ケア学会総会第 5 回学術集会, 2014/5

□家 研也, 中尾文香: 医療の包括性と患者の健康アウトカムの関係 第 5 回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会, 2014 年 5 月(仙台)

□森洋平, 大塚真理子, 小林修, 佐野樹, 内藤知佐子, 春田淳志, 山下政和. オンライン学習により創発された IPE/IPW ワークショップ, 第 7 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (新潟), 2014. 9

□市川周平. データ共有. 於・第 19 回 臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会 2015/03/21.

□後藤道子 第 7 回日本保健医療福祉連携教育学会 2014.9.20~21 本邦における大学・専門職養成校の多職種連携教育カリキュラムに関する現状調査

□矢部千鶴, 松本 順子, 裏川 友紀, 植村 由佳子, 四方 哲, 竹村 洋典 広域少子地域における「子育ての困難感」に関わる因子の検討 第 5 回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会 (2014 年 5 月 11 日, 岡山)

□庄山直美, 藤井久美子, 西川祥子, 四方哲, 澁谷咲子, 小林恭子 津市白山・美杉地域における保健・医療・福祉の連携について 第 54 回全国国保地域医療学会 (2014 年 10 月 10 日, 岐阜)

□矢部千鶴, 四方哲, 竹村洋典 テレビ会議システムを利用した教育と生涯学習～現状と課題 ～プライマリ・ケア連合学会中部ブロッ

ク支部学術集会(2014年11月30日, 富山)

□小林恭子, 澁谷咲子, 若林千秋, 井端清二, 磯田晋一, 矢部千鶴, 四方哲
白山・美杉地域ケア会議の取り組みと課題, 第2報
第31回三重県地域医学研究会(2014年12月6日, 津市)

□近藤 諭, 四方 哲 家庭医による糖尿病教室は、患者のHbA1cを低下させるか?
第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会
(2014(平成26)年5月10日, 岡山)

□荻原味香, 後藤 芳伸, 堀井 正紀, 小椋 友美, 鎌田 隆広, 上田 加奈子, 三村 直樹, 四方哲
糖尿病教室参加者の血糖改善効果についての報告 第53回全国自治体病院学会 (2014(平成26)年10月30日, 宮崎)

□大西 丈二 要支援・要介護認定と災害時援護の必要性に関する研究 第63回日本農村医学会学術総会. 2014. つくば市

□城山 真澄, 大西 丈二 志摩市における要支援者の介護ニーズについて 第63回日本農村医学会学術総会. 2014. つくば市

□大西 丈二 要介護, 要支援および未認定の高齢者における外出頻度の差について
第73回日本公衆衛生学会総会. 2014. 宇都宮市

□城山 真澄, 大西 丈二 要支援者における総合診療の現状について 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014. 宇都宮市

□大西 丈二, 瀧瀬 祐子, 大田 祥子 地域連携推進に資する回復期リハビリテーション病棟入院患者の病状等に関する数値化の試みについて 第51回日本リハビリテーション学会学術集会. 2014. 名古屋市

□大西 丈二, 伊藤 正毅, 古里 綾佳, 山添 尚久, 宮崎 光一, 小島 照司, 関岡 清次
三重県度会郡南伊勢町における在宅医療の現況調査と考察 第16回日本在宅医学会大会. 2014. 浜松市

□大西 丈二 一般高齢者対象調査におけるアンケートとインタビューの結果の相違について
第56回日本老年医学会学術集会. 2014. 福岡市

□大西 丈二 奈良県の市町村別平均寿命の伸びに関する地域相関研究 第56回日本老年医学会学術集会. 2014. 福岡市

□大西丈二, 小林隆司, 小山博史 地方におけるWebサイト「がん情報サービス」およびその他のがん関連情報源についての利用状況調査 第60回東海公衆衛生学会学術大会. 名古屋市

□大西 丈二 医師年齢を考慮した地域診療所医

師数の評価 第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会. 2014. 岡山市

□御前秀和 H26.5.10-11 日本プライマリケア連合学会 In 岡山 口演「喫煙と喫煙場所や禁煙飲食店の利用の関係について」

□小嶋秀治: 2014/05/11 第5回日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会「地域住民の受療行動について」 口述

□堀端謙, 山本政和, 竹村洋典. 看護師による学習者の中心静脈カテーテル挿入手技の評価法の開発. 第5回プライマリ・ケア連合学会学術集会, 2014, 岡山.

□堀端謙, 竹田啓, 和田健治, 堀端智子, 鳥谷部真実, 山本政和, 竹村洋典. 学習者の手技習得度合評価ツール作成のための探索的研究. 第5回プライマリ・ケア連合学会学術集会. 2014, 岡山.

□山本政和, 堀端謙, 竹村洋典. 家庭医療の手技習得のための工夫. 第5回プライマリ・ケア連合学会学術集会. 2014, 岡山.

□成島仁人: 国内学会・研究会発表(口述, ポスターを含む) 第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会インタレストグループ5. (公募企画)「コンピテンシーに基づいた家庭医療の後期研修目標を考える」～コンピテンシーの視点から, 家庭医療後期研修プログラムの到達目標について語り合おう! ~2014.5

5. 海外学会・研究会発表(口述, ポスターを含む)

□Masaru Kitamura, Youske Takemura; An Investigative Study on Factors Inhibiting Physicians' home Visits in Japan, Wonca World Conference Taipei, 2015/3

□Ie K, Takemura C. Y. Effect of general practitioners' scope of practice on patients' health outcomes; 2014 Primary Health Care Research Conference, Canberra, Australia, July 2014

□Ie K, Takemura C. Y. Development of a valid and reliable questionnaire to measure Primary Care Physicians' Scope of Practice; 2014 Primary Health Care Research Conference, Canberra, Australia, July 2014

□Michiko Goto, Youske Takemura WONCA 2014 The Mie Inter-Professional Education Project :the Result of Collaboration between 5 Departments across 6 Universities.

□Michiko Goto, Youske Takemura APMEC: Asia Pacific Medical Education Conference 2015 A Survey of Interprofessional Education in

JAPAN: a cross sectional study of schools of medicine and other health care related professional schools

□S Shikata, S Shibuya, K Kobayashi, L Dawes, Y Takemura

Impressions and Beliefs of General Practitioner Serviced Rural Hospitals in Mie Prefecture, Japan: A Qualitative Study. WONCA 2014 (Kuching, Malaysia)

□S Shikata, YJ Hong, C Yabe, H Takeda, T Ukai, S Kondo, S Tsuruda, L Dawes, Y Takemura. Description of palliative care in clinical guidelines for cancers around the world. WONCA 2015(Taipei, Taiwan)

□YJ Hong, S Shikata, T Ukai, H Takeda, S Kondo, S Tsuruda, C Yabe, Y Takemura

Primary care physicians should be involved in making clinical guidelines of cancer treatment in Japan. WONCA 2015(Taipei, Taiwan)

□ The Survey of Overall Mental Health Condition in a Highly Aged Rural Town Joji Onishi. WPA Section on Epidemiology and Public Health. 2014. Nara

□御前秀和 H26.5.21-24 Asia Pacific WONCA in マレーシア, クチン ポスター発表

「The research about preferable place for the home care and a gap between actual and ideal home care situation in Mie, JAPAN.」

□小嶋秀治: 2015/03/04 WONCA Asia pacific regional conference 「Ecology of medical care in rural areas in Japan」

□ Young Jae Hong, Satoru Shikata, et al Primary care physicians should be involved in making clinical guidelines of cancer treatment in Japan, WONCA Asia Pasific region Conference 2015(ポスター発表予定)

□ Hoshi G, Ukai T. "Kid Doctors" A communication-provoking project with the public. Poster presentation at WONCA (World Organization of National Colleges, Academies and Academic Associations of General Practitioners/Family Physicians) 2014.

□Miyazaki K. Educational Effect of daily Multidisciplinary Team Reflections. 47th STFM Annual Spring Conference. San Antonio, May 2014.

6. ワークショップ, 講演会講師, その他(新聞掲載, テレビ出演等)

(ワークショップ・講演会講師)

□若林英樹, 後藤道子, ワークショップ「家庭医療において家族を支援する」, 三重大学家庭医療学エクスターンシップ, 2014.8.24, 亀山市

□若林英樹, 家族システム/行動医学留学報告, 第1回日米医学医療交流財団賛助会員交流会, 2014.10.4, 東京

□若林英樹, 予測する在宅医療と家族支援, 平成26年度がんに関する在宅緩和ケア等研修会, 岐阜県看護協会, 2015.1.24, 岐阜市

□田口智博: 桑名市総合医療センター オリエンテーション 「セルフコーチング」(三重・桑名) 2014年4月

□田口智博: 日本臨床コーチング研究会アドバンスミーティング 2014「コーチングの応用セミナーへの展開」(大阪) 2014年4月

□田口智博: 四日市羽津医療センター「他職種や患者さんとのコミュニケーションのコツ〜ラポールと傾聴・承認〜」(三重・四日市) 2014年6月

□田口智博: 岐阜大学医学部附属病院 指導医養成講習会 「コーチング」(岐阜) 2014年6月

□田口智博: 東京大学公衆衛生大学院 医療コミュニケーション学実習「コーチングセミナー」(東京) 2014年7月

□田口智博: 第4回三重大学・第17回MMC指導医養成講習会「コーチング」(三重・津) 2014年7月

□田口智博: MMC臨床研修指導医ブラッシュアップセミナー コーチング実践編(三重・津) 2014年7月

□田口智博, 名倉功二: 第26回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー「コーチングができる医療者へ!〜一歩先をいくコミュニケーションへのサマーレッスン〜」(神奈川・湯河原) 2014年8月

□田口智博: 第1回RA医療連携セミナー「他職種や患者さんとのコミュニケーションのコツ〜ラポールと傾聴〜」(三重・四日市) 2014年8月

□田口智博, 名倉功二: 第9回臨床コーチング研究会 2014 総会・セミナー・学術集会 「スキルアップセミナー アドバンス プログラム」(名古屋) 2014年8月

□田口智博, 他5名: 国際医療リスクマネジメント学会「医療安全のための臨床コーチング実習研修 2014 秋季」(京都) 2014年10月

□田口智博: 三重大学家庭医療セミナー「コーチングセミナー〜メンタリングへの活かし方を中心に〜」(津) 2014年10月

□田口智博：岐阜大学医学部附属病院 指導医養成講習会 「コーチング」2014年12月

□田口智博：名古屋大学医学部4年生特別講義「コーチング入門」2015年1月

□田口智博：聖路加国際病院 メンタリング小委員会主催 講演会「メンタリング～魅力的な面談にするために大切なこと～」2015年1月

□田口智博：MMC 臨床研修指導医ブラッシュアップセミナー 「コーチング基礎編 in 伊賀・名張」2015年1月

□田口智博：「自走するチームを創るメディカルチームコーチング～「個人」から「チーム」を対象としたコーチングへ～. 日本臨床コーチング研究会スキルアップセミナー・東海臨床コーチング研究会第1回セミナー 2015年2月

□田口智博：日本医療機能評価機構 医療対話推進者養成セミナー修了者対象継続研修会「メディカルコーチング・メディカルチームコーチングセミナー」 2015年3月

(当番幹事)

□田口智博，半谷眞七子，田丸司：第9回日本臨床コーチング研究会学術集会 2014年8月

□田口智博，勢納八郎：日本臨床コーチング研究会スキルアップセミナー・東海臨床コーチング研究会第1回セミナー 2015年2月

(座長)

□田口智博：第9回日本臨床コーチング研究会学術集会 2014年8月

□田口智博：一般分野座長. 第225回日本内科学会東海地方会 2015年2月

□北村 大：三重県の地域医療と総合診療医 講師，熊本大学地域医療セミナー，2014/8

□北村 大：漢方を本当にわかるためのセミナー：入門編 講師，日本プライマリ・ケア連合学会秋期セミナー，2014/11

□北村 大：我々の能力と価値とは～優れた学習ツールを用いて考える 講師，日本プライマリ・ケア連合学会秋期セミナー，2014/11

□北村 大：我々の「在り方」とは～CPD（生涯学習）を通じて考える～，日本プライマリ・ケア連合学会冬期セミナー，2015/2

□岡田唯男，家 研也，他：第5回 日本プライマリケア連合学会学術大会招待講演「プライマリ・ケアってエビデンスはあるの？第2弾」2014年5月(岡山)

□森洋平，松田諭，泉京子，平野嘉信，森下真理子. ライフスキルで人生を変える～夏の日の2014～.

□第26回学生・研修医のための家庭医療学夏期セ

ミナー（静岡）2014.8

□中村琢弥，宇井睦人，今藤誠俊，佐々木隆徳，清田実穂，森洋平，川口篤也. 日本でどんな家庭医が育っているの？～第3回！家庭医療専門医試験を体験する. 第26回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー（静岡）2014.8

□森洋平，後藤道子，吉田和枝，他. 第4回 M I E I P E P R O J E C T「多職種連携を体験してみませんか？」皇學館大学（伊勢），2014.10

□森洋平，松井善典. 滋賀医科大学 4年生家庭医療学講義. 滋賀医科大学（大津），2014.10, 2014.11

□森洋平，家研也，小嶋秀治，若林英樹. ワールドカフェ

「地域医療のこれから」私たちができることって何だろう？，亀山市民大学キラリ（亀山），2015.1

□森洋平，後藤道子，小林毅. コンピテンシーを基礎教育／生涯教育の学習者評価に活かすためには？，シンポジウム「日本における多職種連携コンピテンシーの開発 患者・利用者のための連携力とは？」（名古屋），2015.2

□近藤諭，森洋平，他. もし若手の家庭医が初めて学校医を依頼されたら～もしカテ～，第10回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー（東京）2015.2

□吉本尚，春田淳志，市川周平，他. より良い多職種連携の方法とは？（仮）於・一般社団法人福岡県私設病院協会 *****. 2015/03/23. (ファシリテータ).

□春田淳志，小島愛，市川周平. コンピテンシーを基礎教育／生涯教育のデザインに活かすためには？於・シンポジウム「日本における多職種連携コンピテンシーの開発」. 2015/2/11. (ファシリテータ)

□春田淳志，飯岡諸美，小島愛，森洋平，吉見憲二，市川周平，吉本尚. 複雑性の視点で多職種連携の事例検討を振り返る. 於・岐阜大学医学教育開発研究センター 第55回医学教育セミナーとワークショップ. 2015/2/1. (ファシリテータ)

□後藤道子. 愛知保険医協会新入職員接遇研修会 2014.4.10

□後藤道子. 愛知保険医協会新入職員接遇研修会 2014.4.16

□後藤道子. 愛知保険医協会新入職員接遇研修会 2014.4.17

□後藤道子. 愛知保険医協会新入職員接遇研修会 2015.2.19

□後藤道子. 三重 IPE in 皇學館 2014.10.

□後藤道子. 三重 IPE in 三重大学 2015.2.

□後藤道子. MMC 研修医接遇研修 2014.4

□矢部千鶴 家庭医療セミナー in MIE「家庭医療って何だろう？」講師（2014年6月14日 津市）

□矢部千鶴 津市ファミリー教室 講師「子育て中のママドクターとお話しよう！」（2014年7月26日 津市）

□御前秀和 H26.7.8 名張市 三重大学住民アンケート結果報告会「在宅ケアについて、禁煙について」講師

□御前秀和 H26.5.10-11 日本プライマリケア連合学会 In 仙台 禁煙ワークショップ 分担講師「たばこの害とプライマリケアの役割～禁煙を勧める上で使えるネタ～」

□御前秀和 H26.11.20 伊賀薬剤師会勉強会「がんばろう薬剤師！～多職種連携で伊賀名張を盛り上げよう！～」講師

□御前秀和 H27.1.23 名張市立病院地域医療教育研修センター主催 地域連携学習会「禁煙の基礎知識～名張で禁煙推進を盛り上げよう！」講師

□御前秀和 H27.2.8 伊賀薬剤師会講演会「高齢者総合機能評価と多職種連携」講師

□御前秀和 H26.7.5 名張市 多職種連携研修 第1回「縁活カフェ」（ワールドカフェ企画）コーディネーター

□御前秀和 H26.11.15 名張市 多職種連携研修 第2回「縁活カフェ」（ワールドカフェ企画）コーディネーター

□御前秀和 H27.2.26 名張市 多職種連携症例検討会コーディネーター

□小嶋秀治：2014/08/23 三重大学家庭医療エクスターンシップ 「家庭医療とスポーツ医学」ワークショップ

□小嶋秀治：2014/10/21 亀山市立医療センター糖尿病教室講演「糖尿病と運動療法」

□小嶋秀治：2014/10/22 亀山市昼生地区講演「健康づくり」

□小嶋秀治：2014/12/14 日本医療福祉生協連合会・家庭医療学開発センター 整形外科ワークショップ

□小嶋秀治：2015/01/21 亀山関南地区健康づくり応援隊養成講座 講演「有酸素運動」

□小嶋秀治：2015/01/23 亀山市民大学キラリ「地域医療のこれから」ワールドカフェ

□小嶋秀治：2015/02/05 亀山関南地区健康づくり応援隊養成講座「抵抗運動」

□小嶋秀治：2015/02/08 南伊勢町地域医療ワークショップ

□小嶋秀治：2015/02/18 亀山関南地区健康つく

り応援隊養成講座「転倒予防」

□小嶋秀治：2015/02/21 熊野市地域医療ワークショップ

□洪 英在：2014年11月18日 中日新聞 医人伝

□洪 英在：2014年8月30日 名古屋医療センター研修医勉強会 講演「病院における在宅療養支援」

□洪 英在：2014年12月17日 第9回嚙下研究会嚙下マニア 講演 「認知症の方の食支援～BPSDとしての摂食障害にアプローチ. その理論と実際～」

□洪 英在：2015年2月15日 北医療生協学術運動交流集会 基調講演 「地域包括ケアにおける医療の役割について」

□洪 英在：2015年2月27日 SCCNet 勉強会講師 「認知症と食支援」

□堀端 謙：亀山市公民館出前講座 「転倒予防教室」 亀山市天神・和賀地区コミュニティーセンター 2014年7月18日 堀端謙（講師）

□堀端 謙：亀山市公民館出前講座 「転倒予防教室」 亀山市北部地区ふれあい交流センター 2014年8月20日 鳥谷部真実（講師）

□堀端 謙：亀山市公民館出前講座 「転倒予防教室」 亀山市関文化交流センター 2014年12月3日 近藤誠吾（講師）・小嶋秀治（講師）

□堀端 謙：亀山学校 市民向け講演会 「リビング・ウィル」 亀山市総合保健福祉センター大会議室 2014年11月13日 堀端謙（講師）

□堀端 謙：亀山市民大学きらり 講師 「亀山市立医療センターでの総合医の活動」 亀山市総合保健福祉センター大会議室 2014年12月5日 竹村洋典（講師）・堀端謙（講師）

□宮崎 景：ワークショップ 家庭医療に関わる職種を知ろう！お話を聞こう！話そう！家庭医療セミナー in Mie 2014.6

□宮崎 景：津市行政情報番組「心と体の健康を考える」 大腸がん検診 2014.11

□宮崎 景：ワークショップ根拠に基づいた予防医療，国立長崎医療センター，長崎， 2014.11

□吉本尚：津市行政情報番組 まるっと津ガイド 元気のつぼ！「飲酒の良い点・悪い点」2015.4.23～4.30 放送

□竹田啓：津市行政情報番組 まるっと津ガイド 元気のつぼ！「自分らしい終末期の過ごし方」2015.5.8～5.15 放送

□鶴飼友彦：津市行政情報番組 まるっと津ガイド 元気のつぼ！「熱中症予防！」2015.7.8～7.15

放送

□洪英在：津市行政情報番組 まるっと津ガイド
元気のつぼ！「認知症の治療」2015.9.8～9.15 放送

□宮崎景：津市行政情報番組 まるっと津ガイド
元気のつぼ！「大腸がん検診」2015.11.8～11.15 放送

□成島仁人：津市行政情報番組 まるっと津ガイド
元気のつぼ！「在宅医療における看取り」

2015.1.8～1.15 放送

□若林英樹：津市行政情報番組 まるっと津ガイド
元気のつぼ！「不眠症～より良い眠りを心がけ
ましょう」2015.3.8～3.15 放送

□竹田啓：日本プライマリ・ケア連合学会 第1
0回 若手医師のための冬季セミナー WS3 学校
医 もし若当ての家庭医が初めて学校医を依頼され
たら～もしカテ～2015年2月21日講師

□近藤諭：【若手医師のための家庭医療学冬期セミ
ナー(2015年2月21日)】

□近藤諭：【学生・研修医のための総合診療医セミ
ナーin 東北(2014年11月15日)】

□近藤諭：“家庭医療に関わる職種(医師・看護
師・薬剤師・ケアマネ)を知ろう!お話を聞こう!話そう!”

【家庭医療セミナー2014 in Mie (2014年6月14日)】

□荒木史郎：日本プライマリ・ケア連合学会 認
定薬剤師限定研修会 ファシリテーター (2014.11.2)

□荒木史郎：三重 IPE/IPW SP (模擬患者)
(2014.10.5)

□荒木史郎：三重 IPE/IPW ファシリテーター
(2015.2.15)

□湯浅美鈴：平成 27 年 2 月 15 日 三重大学緩和
医療ケアフォローアップ研修会講師

HP▶ (ホームページ)<http://www.medic.mie-u.ac.jp/soshin/>